

2022年6月22日

特定非営利活動法人日本消費者連盟
共同代表 大野 和興 様
共同代表 瀬瀬美千世 様

株式会社ファミリーマート
サステナビリティ推進部

プラスチック資源循環法施行に伴う抜本的な施策についての質問書へのご回答

弊社の施策について関心をお寄せいただき、ありがとうございます。ご質問いただきました件につきまして、以下の通り回答いたします。

記

1. 返却式リユースカップ（フタを含む）導入の計画について

現時点ではリユースカップの導入は未定でございますが、プラスチックの削減・資源循環に関して今後も様々な手法を検討して参ります。

ご参考までに、2022年4月より、ファミマ!!（※）店舗にて販売しているアイスコーヒーのカップを順次プラスチックから紙へ変更し、アイスコーヒー用のストローレスリッド（ストローのいらぬフタ）を導入しております。

※「ファミマ!!」は都市型ワーカー向けにオフィス内で展開するファミリーマートのストアブランドです（2022年5月末時点45店を展開）。

2. カトラリーなどのリユースについて

現時点ではカトラリーのリユースに関して未定でございますが、プラスチックの削減・資源循環に関して今後も様々な手法を検討して参ります。

ご参考までに、弊社はお客さまへ配布するスプーン、ストロー等のプラスチック使用量削減に向けて、「2019年度対比2030年度までに石油由来のプラスチック使用量を50%削減」することを目標として、以下の取り組みを進めています。

- ①軽量化（スプーンの持ち手部分を穴あきデザインへ変更）
- ②代替素材（木製等）使用（カウンターコーヒー用マドラーを木製に変更）
- ③バイオマスプラスチック配合（ストローをバイオマスプラスチック配合に変更）
- ④生分解性プラスチック使用（一部店舗のストロー、スプーンに導入）

さらに店舗ではお客さまへお声がけ等を行い、配布の抑制にも努めています。また、店頭で配布しているフォークの配布を休止し、カトラリーの取り扱いを集約化する実験を行い、プラスチック削減のためフォークの配布を取りやめることも検討しております。

弊社では、環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年及び2050年に向けた中長期目標「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定し、プラスチック対策として、容器・包材にバイオマスプラスチックや再生PETを導入するなど、環境配慮型素材の使用を進めております。他にも、商品包装の薄肉化・軽量化、お客さまのご協力による使用の抑制など様々な方法でプラスチックの削減に取り組み、環境に配慮した活動を推進して参ります。

以上